

2013年度 2学期 社会言語学研究
語用論とディスコース・ポライトネス 木曜日 2限(407)

担当教員：宇佐美まゆみ

E-mail：usamima@tufs.ac.jp

研究室：740号室

TA: nguyenminhvan3007@gmail.com (ヴァン)

日付 担当者	授業の計画
1 10月3日	顔合わせ、授業の説明等
2 10月10日	ポライトネス理論、ディスコース・ポライトネス理論の概論 「距離」と「示す」について考えた。
3 10月17日	まえがき 第1章
4 10月24日	第2章（三牧、2013） 廣瀬
5 10月31日	第2章（三牧）（引き続き）廣瀬 第3章（三牧、2013）キンエイ
11月7日	月曜日の授業の振替日
6 11月14日	第4章（三牧、2013）4.1～4.1.5（キンエイ）
11月21日	外語祭
7 11月28日	第4章（三牧、2013）4.2～4.3（金成樹）
8 12月5日	第5章（三牧、2013）5.1～5.3（林潔ケイ） 第5章（三牧、2013）5.4～5.6（趙晓晨）
9 12月12日	第6章（三牧、2013）6.1～6.4（ヒョウヨウ） 第6章（三牧、2013）6.5～6.7（趙一雄）
10 12月19日	第7章（三牧、2013）全章（李イショウ）
11 1月16日	第8章（三牧、2013）全章（楊雪）
12 1月23日	第9章（三牧、2013）9.1～9.2（サイエイサイ） 第9章（三牧、2013）9.3（朴）
13 1月30日	第10章（三牧、2013）10.1～10.2（ニンメイセイ） 第10章（三牧、2013）10.3～10.5（胡方方）
14 2月6日	第11章（三牧、2013）全章（チャン・ティ・ミー） 第1章（滝浦、2008）全章（Kim Hyejing）
15 2月13日	第2章（滝浦、2008）全章（ムチル） まとめ

教科書

<日本語版>

- ① 三牧陽子(2013)『ポライトネスの談話分析 - 初対面コミュニケーションの姿としくみ』
くろしお出版

まえがき

第1章：初対面会話研究と本研究

第2章：ポライトネス研究の展開と課題

第3章：本研究の初対面会話データ

第4章：スピーチレベル管理論

第5章：基本的スピーチレベル設定にみるポライトネスの表示

第6章：相手に対するスピーチレベル表示回避形式を利用した接近ポライトネス・ストラテジー

第7章：話題の選択と転換にみるポライトネス

第8章：自己開示をめぐるポライトネス

第9章：仲間意識の構築過程にみるポジティブポライトネスの諸相

第10章：FTA バランス探求行動

第11章：総合的考察

② 滝浦真人(2008)『ポライトネス入門』研究社

はじめに

第1章：「ポライトネス」の背景

第2章：ブラウン&レヴィンソンのポライトネス理論

第3章：敬語とポライトネス

第4章：〈距離〉とポライトネス

第5章：ポライトネスのコミュニケーション

第6章：「応用編」終助詞「か／よ／ね」の意味とポライトネス

参考文献

宇佐美 (2001)「ポライトネス理論から見た敬意表現 - どこが根本的に異なるか-」『月刊言語 12月号』大修館書店、18-25頁

提出物について

(1) 毎回授業についての感想を A4 一枚にまとめてください。

※メールと紙の両方の提出をお願いします。

※感想文(メール)送信先 2013moku2-aki@tufs.ac.jp

件名：木2 社会言語学研究(名前)日付

【例】2013年10月10日の授業の感想文の場合

メールの件名：木2 社会言語学研究(ヴァン)10 10 13

★数字と括弧はすべて半角に統一する

★日付は授業日を書く(10 10 13→10 17 13→10 24 13の順に)

※感想文(紙)提出先：707室前のボックス

※締切り：授業の翌週の水曜日 12:00 まで (時間厳守)

(2) 中間、期末レポート：usamiken1@gmail.com (詳細は後ほど)

